

第4回   
5感で楽しむ

お好きなタイミングで  
お越しください!

# ヨシフェス

入場  
無料

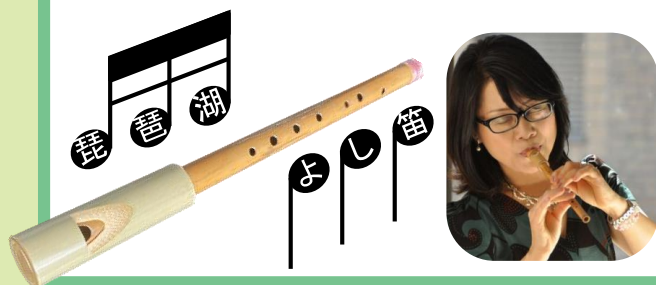
令和6年10月26日(土)

10:00~17:30ごろ

受付場所：近江八幡市円山町746  
(詳細は裏面参照)

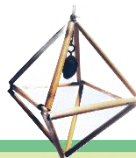
## よし笛コンサート

近藤ゆみ子さんの演奏や、  
その教え子たちによる演奏を、  
ごゆっくりお楽しみください♪



## 葎箆やヒンメリの ワークショップ

ヨシをつかった様々な工作を  
いくつも体験してみよう!



## 茅葺き屋根と葦舟

万博の中核パビリオンにて  
茅葺き屋根が採用されるので、  
ヨシフェスでも披露します!  
葦舟も展示していますので、  
試しに乗ってみませんか?



## 葎うどんの屋台

ヨシの葉を粉末にしたものを  
生地ねりこんだうどんです。  
普通のうどんとの違いを  
ぜひ確かめに來てください!



【主催】 特定非営利活動法人まるよし  
【共催】 まるやまの自然と文化を守る会  
MLGs推進委員会  
【メール】 info@npo-maruyoshi.com  
【電話】 080-4393-1807

Instagram



LINE



## 開催場所の位置図



《来場にあたっての注意点》

- 駐車可能台数が限られているため、バス、自転車、徒歩でお越しください。
- 最寄のバス停は近江鉄道バス（長命寺線）の「円山」です。※左図参照
- ヨシフェス会場は、まるよしカフェから、約200m歩いたところ。

## 大阪・関西万博に西の湖のヨシが使用されます！



滋賀県は全国有数のヨシの生産地で、品質の良いヨシは「近江葎」というブランドとして重宝されてきました。建具や衝立といった屋内で使う調度品、簾や茅葺き屋根といった建築資材、さらには食料としても、古くから湖国に生きる私たちの生活になじみ深く、欠かせない存在です。

かつてはヨシの需要が供給を上回っていたことが、中国からヨシを仕入れるきっかけとなったのですが、今では多くのヨシが活用されなくなってしまいました。しかし、ヨシのもつポテンシャルが下がったわけではなく、日本人の自然観が希薄化してきていることが何よりの原因であると、私たちは感じています。



今回、滋賀が誇るヨシの産地である西の湖（近江八幡市）から、大阪・関西万博の小山館にヨシを届ける大役をいただいたわけですが、小山薫堂さんがプロデュースされる「EARTH MART」というパビリオンでは茅葺き屋根で建設するという以外にも、「食を通じて、いのちを考える。」というメッセージが込められており、私たちの想いと深く共鳴するものであり、関わられることを光栄に思います。



EARTH MARTの詳細はコチラ

<https://expo2025earthmart.jp/>



この事業は平和堂財団環境保全活動助成事業『夏原グラント』の助成を受けて実施しています。

この近江八幡市まちづくり芸術振興事業補助金活用事業は、ふるさと納税寄附金を活用しています。